

事前評価個表

整理番号	12
------	----

地域（地区）名	揖斐川	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	岐阜県	対象市町村	揖斐川町ほか13市町
事業実施期間	H31 ～ H35（5年間）	事業実施主体	県、市町、森林組合、森林所有者等

事業の概要・目的	<p>本地区は、岐阜県の南西部に位置し、^{おおがきし}大垣市、^{かいづし}海津市、^{もとすし}本巣市、^{みずほし}瑞穂市、^{たるいちよう}垂井町、^{おおのちよう}大野町、^{せきがほらちよう}関ヶ原町、^{こうどろちよう}神戸町、^{わののうちちよう}輪之内町、^{あひはらちよう}安八町、^{あがらちよう}養老町、^{いひだちちよう}揖斐川町、^{いひだちちよう}池田町、^{きたかたちよう}北方町の4市10町から構成されている。</p> <p>本地区総面積184千haのうち、森林面積は、131千ha（森林率71%）、対象民有林は120千ha（森林全体の92%）、うち人工林は43千ha（人工林率36%）となっている。</p> <p>また、スギ・ヒノキを主体とする人工林の構成はⅧ齢級6千ha（人工林の13%）をピークに、主に間伐を必要とするⅦ齢級からⅩⅡ齢級は28千ha（人工林の65%）を占めており、適切な森林整備が求められている。</p> <p>しかしながら、本地区も全国の状況と同様に木材価格の低迷による林業の採算性の低下、所有者の経営意欲の減退や林業従事者の人手不足の影響もあり、間伐等の手入れが遅れた森林が増加するなど、森林が本来持つ国土保全、水源涵養等の公益的機能の発揮への支障をきたすことが懸念されている。</p> <p>一方、近年、県内で整備されている合板工場や大型製材工場の稼働により、県内の木材需要が強まり、本地区においても豊富な森林資源を活かした安定的な木材供給への機運が高まっている。</p> <p>このような状況を踏まえ、揖斐川地域森林環境保全整備事業計画に基づき、より効率的に事業を実施するための基盤整備や高まる木材需要に対応するために意欲と能力を有する林業事業者等による、集約化された計画的な森林施業の促進をしているところである。</p> <p>本事業では、森林の有する多面的機能の維持・増進を図るために、効率的な施業に不可欠な路網整備と森林計画等に基づく、造林、保育、間伐等の適切な森林整備を実施する。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備：4,097ha 人工造林、下刈、枝打ち、除伐、間伐等</p> <p>路網整備：4,872m 林業専用道</p> <p>総事業費：2,157,150千円（税抜き1,997,362千円）</p>
費用便益分析結果	<p>B/C=4.36 （総便益（B）=10,498,685千円、総費用（C）=2,409,618千円）</p>
評価結果	<p>必要性：水源涵養等の公益的機能の発揮のための森林整備や木材の安定供給が求められている地域であり、事業の必要性が認められる。</p> <p>効率性：費用便益分析の結果から十分な効率性が認められる。</p> <p>有効性：間伐を中心とした森林施業を効率的に推進することで、優良材の安定的な生産に繋がるとともに、森林の持つ公益的機能の高度発揮に寄与する事業であり、有効性が認められる。</p>

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名: 森林環境保全整備事業

都道府県名: 岐阜県

地域(地区)名: 揖斐川^{いびがわ}

(単位: 千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養 ^{かん} 便益	洪水防止便益	2,587,141	
	流域貯水便益	1,005,391	
	水質浄化便益	2,077,062	
山地保全便益	土砂流出防止便益	1,830,301	
環境保全便益	炭素固定便益	1,297,057	
木材生産等便益	木材生産確保・増進便益	1,446,870	
森林整備経費縮減等便益	森林管理等経費縮減便益	17,137	
	森林整備促進便益	237,726	
総 便 益 (B)		10,498,685	
総 費 用 (C)		2,409,618	
費用便益比	$B \div C = \frac{10,498,685}{2,409,618} = 4.36$		

森林環境保全整備事業 揖斐川地域(岐阜県)

